

友の会ニュース

2009 May No.7

京都新聞創刊 130 年記念

京都学「前衛都市・モダニズムの京都」展

2009 年 6 月 9 日 (火) ~ 2009 年 7 月 20 日 (月・祝)

いよいよ 6 月 9 日 (火) から、京都新聞創刊 130 年記念「京都学 前衛都市・モダニズムの京都」展が開幕いたします。これまで本展の輪郭は、このニュース紙面でもお伝えして参りましたが、その後新たに、鮮やかに着彩された平安神宮創建時の図面が見つかりました。全部で 9 面のこの図面は、設計者・伊東忠太自らが描いたもので、平安神宮の倉庫にしまわれたままだったのです。

明治 20 年代後半、それまでの「造家学」から「建築学」という名称に変えよと提唱した伊東忠太のデビュー作・平安神宮の構想が、120 余年ぶりによみがえります。

さらに島津製作所といえば、一見美術とは無縁にも思われますが、実は創業者の島津源蔵そして二代目源蔵は、円錐鏡に画像が現れる原理の考案や、「おどろき盤」と称するストロボスコープなど、まるで現代美術にも連なるような数々の試作品を生み出しました。そして二代目源蔵は、上野伊三郎が設計した北白川の自邸（現日本パプテスト病院）から、毎朝電気自動車「デトロイト号」（6 月 30 日から展示）で出勤していたのです。上野伊三郎の、伊東忠太設計の「祇園閣」に対する景観批判。京都新聞の前身『日出新聞』が展開した「ジャーナリズムと美術」の動き、内国勸業博覧会に象徴されるイベントの開催など、本展で取り上げる数多くの事例は、まさに今日の私たちの生活環境そのものの「原型」だといって過言ではありません。このように本展では、たんに「京都」の文化を回顧するのではなく、現代の視点から、新たな「京都学」を探ります。



島津製作所
「ストロボスコープ」(おどろき盤)



伊東忠太「平安神宮図面」

●友の会主催 連続関連企画 「京都学」バス・ツアー (+解説会)

3 月号でもお伝えしましたように、特別企画として展覧会関連の施設を巡るバス・ツアーを実施いたします。このツアーでは、通常入場することのできない施設で、各所職員による詳しい解説を聞きます。今回の展覧会の舞台を体験し、京都学を肌で感じることのできる貴重な機会です。



伊東忠太「祇園閣」

現在のところ、定員までには若干の余裕があります。申込期限を **6 月 8 日(月)**まで延長し、皆さまの更なるご参加をお待ちしています。

日時:2009 年 6 月 19 日(金)

9:30~18:00 頃

集合場所:京都国立近代美術館 北側駐車場
(スケジュール)

9:20 集合

9:30 出発

(チャーター・バス 1 台で移動します)

9:45 日本パプテスト病院 (旧島津邸) 見学

11:20 橋本関雪記念美術館

13:00 昼食「ガーデン・オリエンタル」

(旧竹内栖鳳アトリエ)

14:30 祇園閣 (特別公開+解説)

16:30 京都学「前衛都市・モダニズムの京都」展解説

(当館 1 階・講演室)

その後、展覧会を各自鑑賞

(夜間開館のため、20:00 までご覧頂けます)

バス・ツアー申込方法

定員:40 名

(先着順、友の会会員と同伴者 2 名まで申込可)

(最小催行人数:30 名)

参加費:10,000 円

振込先:銀行口座 みずほ銀行出町支店

口座番号 2338632

(振込手数料は参加者負担)

名義 京都国立近代美術館 友の会

申込〆切:2009 年 6 月 8 日 (月) 17:00 まで

申込・お問合わせ:京都国立近代美術館

庶務課庶務係 075-761-4111 (代)

(平日 9:30~17:00)

※同封の別紙「申込書」にてお申込ください。

●関連企画

◎シンポジウム

「ひとつの京都学 美術・工芸・建築・都市」

6 月 20 日(土)10:30-17:00

パネラー:稲賀繁美 (国際日本文化研究センター)

佐藤一信 (愛知県陶磁資料館)

藤井健三 (財団法人西陣織物館)

丸山宏 (名城大学)

山野英嗣 (京都国立近代美術館)

司会:池田祐子 (京都国立近代美術館)

後援:ジャポニスム学会

◎講演会

「マキノ映画と京都」

7 月 11 日(土)14:00-15:30

講師:富田美香 (立命館大学映像学部 准教授)

※いずれも京都国立近代美術館 1 階講演室にて、聴講無料、

先着 100 名

◎上映会「前衛都市・モダニズムの京都映画」

●7 月 10 日(金)19:30-21:30

『大活劇 争闘』1924 年 東亜キネマ (等持院) (90 分)

監督:金森万象 他 2 作

●7 月 11 日(土)19:30-21:30

『鉄血團』1928 年 マキノプロ (53 分)

監督:川浪良太 他 2 作

※京都国立近代美術館 1 階ロビーにて、先着 200 名、料金

500 円 (当日券のみ)

協力:東京国立近代美術館フィルムセンター

◎協賛企画「映画都市・京都のヴァンギャルド映画上映」

7月2日(木)、4日(土)13:30-、17:00-

●『狂った一頁』1926年 新感覚派映画連盟 (93分)
原作：川端康成、監督：衣笠貞之助

7月3日(金)、5日(日)13:30-、17:00-(2作品連続上映)

●『疏水 流れにそって』1934年 CINE FRONT KIOTO (13分)
記録映画 監督：能勢克男

●『十字路』1928年 衣笠映画連盟 (65分) 監督：衣笠貞之助

会場：京都文化博物館 3階映像ホール

NFC所蔵作品選集

MoMAK Films @ Goethe

東京国立近代美術館フィルムセンター (NFC) が所蔵する約6万本におよぶ内外の名作映画のコレクション、この貴重な映画の一部が京都でも鑑賞できるようになります。京都国立近代美術館とフィルムセンターは NFC 映画コレクションの京都での定期上映を目指して努力を重ねてきました。このたび京都の映画関係者のご理解とご支援、ドイツ文化センター (京都) の全面的協力のもとに、同センター・ホールを会場として MoMAK Films @ Goethe プロジェクトをスタートします。2009年5月23日の第1回 (ドイツ映画特集) を皮切りに、今年度は20世紀前半の各国映画の特集を年間5回の予定で上映します。

日時

2009年5月23日(土) ~ 2010年3月(予定) 期間中計5回
上映時間：各回14:00~19:00頃 (開場は13:30)

※上映作品、各回のスケジュールについては当館ホームページの「プレスルーム」からご確認ください。

料金

1プログラム500円、当日券のみ

定員

先着100席

当日13:30より受付で当日分のすべての作品の整理番号付き入場券を販売、開場いたします。各回入替制です。2回目以降は各上映開始の10分前に開場します。

ご入場は整理番号順で自由席です。(椅子席、栈敷席があります。)

入場券は当日・当該回のみ有効です。なお、前売券はありません。

会場内での飲食はご遠慮願います。

主催

京都国立近代美術館 (MoMAK)

東京国立近代美術館フィルムセンター (NFC)

<http://www.momat.go.jp/FC/fc.html>

協力

ドイツ文化センター (京都)

<http://www.goethe.de/kyoto>

会場

Goethe-Institut Japan in Kyoto / ドイツ文化センター (京都)

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町19-3 (川端通荒神橋上ル) TEL (075) 761-2188

交通案内：<http://www.goethe.de/ins/jp/kyo/knt/anf/jaindex.htm>

ピアノ奏者 長谷川慶岳(はせがわ・よしたか)

東京芸術大学音楽学部作曲科を経て、同大学院修士課程作曲専攻を修了。その後フランスに留学、パリ・エコール・ノルマル音楽院作曲科ディプロム・スヴェリウールを首席で取得。現在、大阪音楽大学准教授。

2009年度上映予定

1. 2009年5月23日(土) ドイツ

1920年代に黄金期を築き、数多くの巨星を輩出したドイツ映画界。ナチ台頭による過渡期に焦点をあて、のちにドイツを離れるジヨドマーク、オフェルスの初期作品と、ロシア人ヴォルコフのウーファ特作作品を紹介。激動の時代に亡命を余儀なくされた映画人たちの仕事を通して、異文化観やドイツ映画に培われた技術力を見る。
主催：京都国立近代美術館、東京国立近代美術館フィルムセンター、ドイツ文化センター (京都)

『激情の嵐』(1931年、監督：ロベルト・ジヨドマーク)

『ヨシワラ』(1936年、監督：マックス・オフェルス)

『東洋の秘密』(1928年、監督：アレクサンダー・ヴォルコフ)

2. 2009年9月12日(土) フランス

シネマトグラフの発明に端を発する“映画の国”フランス。無声映画期から戦後にかけて約100年のフランス映画史を築きあげた監督たちの中から、クレール、デュヴィヴィエ、トゥールヌール、グレミオンをとりあげ、彼らの初期代表作を紹介。ジャンルや表現手法の多彩さ、パリや地方を舞台にした地域表象の魅惑を通して、フランス映画の潮流を辿る。

『巴里の暗黒街』(1932年、監督：モーリス・トゥールヌール)

『巴里一伯林』(1931年、監督：ジュリアン・デュヴィヴィエ)

『幕間』(1924年、監督：ルネ・クレール)

『燈台守』(1929年、監督：ジャン・グレミオン)

3. 2009年11月 ソヴェト

1920年代に世界を座巻したソヴェト映画の豊富な成果を横断的に紹介。帝政ロシア時代のエフゲーニー・パウエル監督門下から宣伝映画を経て、グルジア映画を築いたベレスチアーニと、理論・実作の両面からソヴェト映画を領導したクレシヨフ。クレシヨフ工房出身のバルネット。彼らの活劇、喜劇に底流するモダニティを再確認する。

『国境の町』(1933年、監督：ボリス・バルネット)

『赤い小悪魔』(1923年、監督：イワン・ベレスチアーニ)

『ボリシェヴィキの国におけるウェスト氏の異常な冒険』(1924年、監督：レフ・クレシヨフ)

4. 2010年1月 中国

映画大国・中国の、1930年代末から40年代の激動の映画状況を比較。アメリカ映画の影響と洗練された話法や娯楽性で黄金期を築いた上海映画に描かれた上海、中満合作の『萬世流芳』が再現した広州、そして満鉄の芥川光蔵がドイツ製レンズで切り取った満州。これらに描かれた中国社会、映画人の視点、を多角的に検証する。

『娘々廟会』(にゃんにゃんめやをほい) (1940年、監督：芥川光蔵)

『萬世流芳』(1942年、監督：ト萬蒼、朱石麟、馬徐維邦、張善琨、楊小仲)

『街角の天使』(1937年、監督：袁牧之)

5. 2010年3月 日本

P.C.L.・東宝のモダンな作風を体現した伏水修のミュージカル・コメディを特集。生誕100年を機に、黒澤明に夭折を惜まれた伏水の仕事を再発見する。あわせて、生誕105年を迎える斎藤寅次郎の真骨頂ともいえるべき、発掘作2篇を含むスラップスティック・コメディを上映。

『モダン怪談 100,000,000円』[松竹グラフ版] (1929年、監督：斎藤寅次郎)

『石川五右衛門の法事』[パテベビー短縮版] (1930年、監督：斎藤寅次郎)

『爆弾花嫁』(1935年、佐々木啓祐)

『君を呼ぶ歌』(1939年、監督：伏水修)

『世紀の合唱 愛國行進曲』(1938年、監督：伏水修)

『東京ラブソディ』(1936年、監督：伏水修)

※全作品35mm、外国語作品は日本語字幕付。上映作品は予告なく変更する場合があります。

詳細は、当館ホームページをご覧ください。

お問い合わせ

京都国立近代美術館

075-761-4111 (代)、<http://www.momak.go.jp>

ドイツ文化センター (京都)

TEL (075) 761-2188

<http://www.goethe.de/kyoto>

●サマーナイト・コンサートのご案内

日時：2009年6月27日(土)

18:00~20:00、無料

会場：当館1階・ロビー

主催：京都市立芸術大学音楽学部

共催：京都国立近代美術館

※詳細は後日チラシでお知らせいたします。